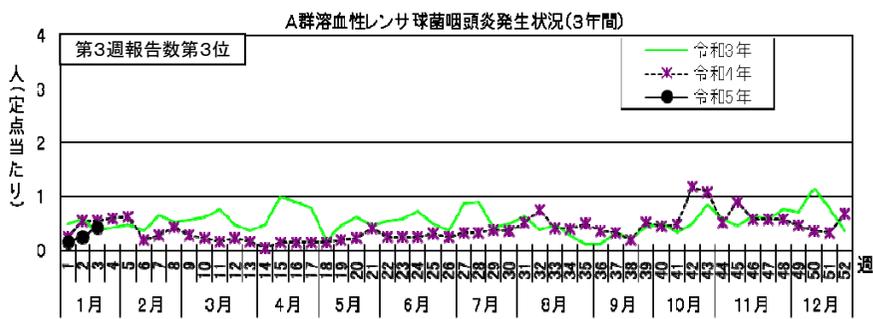
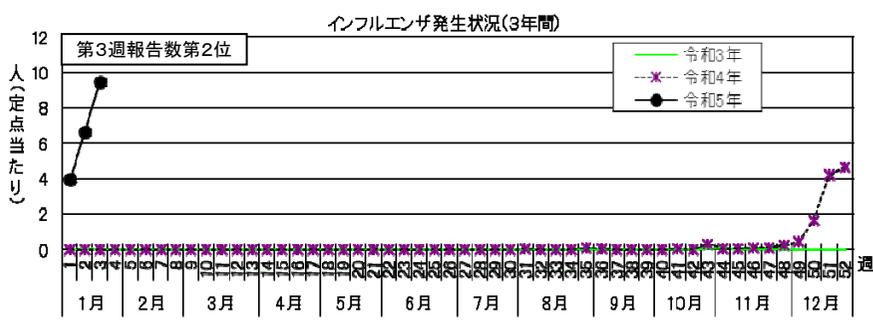
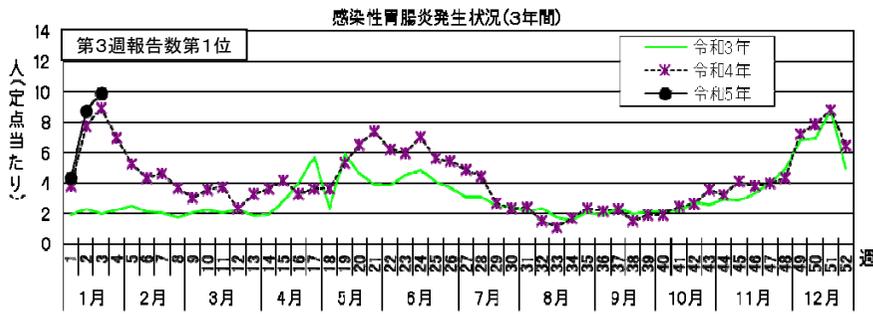


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年1月16日（月）～令和5年1月22日（日）〔令和5年第3週〕の感染症発生状況

第3週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は9.92人と前週（8.73人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は9.48人と前週（6.66人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.43人と前週（0.24人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。



風しんはワクチンで予防できる感染症です。

風しんは、発熱や発しん、リンパ節腫脹を主な症状とするウイルス性の感染症です。特に、風しんへの免疫が不十分な妊婦（妊娠20週頃まで）が感染した場合、眼や心臓、耳等に障害を持つ、先天性風しん症候群（CRS）の子どもが生まれることがあり、大きな問題となっています。

我が国では、風しんの予防及びCRSの発生を防ぐため、公的予防接種を受ける機会がなかった成人男性に対して、無料で抗体検査及びワクチン接種（第5期定期接種）を受けることができるクーポン券を送付しています。さらに、川崎市では、妊娠を希望する女性等に対しても、無料の抗体検査及びワクチン接種費用の一部助成を行っています。抗体価が不十分であると判明した場合は、御自身と子ども達を守るためにも、直ちにワクチンを接種しましょう。

令和4年度川崎市風しん対策事業

対象者：本市の事業を利用したことがない川崎市民で、次のいずれかに当てはまる方

- ・妊娠を希望する女性
- ・妊娠を希望する女性のパートナー
- ・妊婦のパートナー
- ・昭和34年4月2日～平成元年4月1日の間に生まれた男性

実施期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

実施場所：市内協力医療機関

接種ワクチン：麻しん・風しん混合（MR）ワクチン

風しん抗体検査から予防接種までの流れ

①抗体検査（無料）

風しん抗体価が不十分な場合

②予防接種（3,200円*）



*昭和37年4月2日～昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、厚生労働省の追加的対策の対象者となり、免疫を保有していない方は接種費用も無料となります。クーポン券を利用して、抗体検査及びワクチン接種（第5期定期接種）を受けましょう。



※詳しくは令和4年度川崎市風しん対策事業ホームページをご覧ください。